

715高温・低温環境を起因物とする死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2019	1	16 ～ 17	乾燥室にて野菜を乾燥させる作業中、熱中症になった。室温は30℃だった。	44	11	10103	100 ～ 299
2	2019	1	17 ～ 18	院内の厨房で加熱していた粥をミキサーに入れ土台にセットしたところ、電源がついていたためそのまま作動してしまい、顔や首等に熱い粥が飛び散り火傷した。	23	11	130101	100 ～ 299
3	2019	1	8 ～ 9	会社事務所にて、道路を横断中、路面凍結で足が滑り、体の右側から転倒し、右肩にリュックをかけた上に転倒し、肋骨を折った。	61	2	80409	10～ 29
4	2019	1	7 ～ 8	本社工場構内の駐車場にて、自車を駐車後、構内を歩行中、路面凍結により足が滑り転倒し、両手に鞆と傘を持ち、尻もちをつき、後頭部を路面に強打した。その際、頭背部と頸部を負傷した。	30	2	10102	50～ 99
5	2019	2	12 ～ 13	店舗厨房でチャーシューのタレが入った鍋をコンロから下げる際、タレが左足甲に掛かり火傷を負った。	41	11	140201	10～ 29
6	2019	2	8 ～ 9	会社駐車場にて、自家用車から降りた際、路面が凍結しており、足が滑り転倒し、左胸を打ち骨折した。	54	2	80209	1～9
7	2019	3	15 ～	アスファルトの舗装工事の際、高温のアスファルト合材上で作業中、安全靴を着用していたにもかかわらず両足裏に火傷を負っ	57	11	30106	10～ 29

			16	た。				
8	2019	3	11 ～ 12	工場内の作業現場にて、マシン洗浄用の熱湯が入った樽を運搬中、フォークリフトが停車しており、停止した際、蓋の隙間から熱湯がこぼれ、右足長靴内に入り熱傷を負った。	58	11	170101	100 ～ 299
9	2019	4	14 ～ 15	温室内で誘引作業中、体調が悪くなり、熱中症の疑いとなった。	52	11	60101	30～ 49
10	2019	5	23 ～ 24	焼却炉機械設備工事現場にて、ケーブル通線・接続作業中、熱中症を負った。	28	11	30203	30～ 49
11	2019	5	13 ～ 14	駅でバス誘導の警備業務を行っていたとき、急に呼吸困難、手足の痺れ、ろれつが回らない状態になり、熱中症を発症した。	27	11	170201	30～ 49
12	2019	5	15 ～ 16	ゴルフトーナメント会場周辺の交通誘導中に、高温のため熱中症になった。	38	11	170201	50～ 99
13	2019	5	15 ～ 16	片側交互通行をさせる交通誘導に従事していたところ、午後になり体調が悪くなってきたが、業務終了まで仕事をして帰宅後、脱水症状があり熱中症と診断された。	55	11	170201	10～ 29
14	2019	5	18 ～ 19	原料製造工程で、他の作業者の指導係として作業状況を見守っていたところ、体調異変を感じ、頭痛がひどくなり現場で座り込んだ。その後、鼠径部円毒、熱中症と診断された。	55	11	11403	1000 ～ 9999
15	2019	5	16 ～ 17	草刈りや植木の刈り込み作業を終え、日報提出時に立ちくらみがあり熱中症を発症した。	54	11	30199	10～ 29
16	2019	5	11 ～	集配時にテナント内で突然気を失い、低ナトリウム血症となった。	48	11	40301	100 ～

25	2019	6	14 ～ 15	数日前から連日3～6時間、徒歩でチラシ投函業務に当たっていた。当日は昼前からチラシ投函を行ったが、めまいや頭痛、吐き気の症状が出て、熱中症と脱水症状と診断された。	33	11	80409	10～ 29
26	2019	7	7 ～ 8	店舗厨房内で熱中症により倒れ、左目の上を打撲し、口腔内を切った。	21	11	140201	1～9
27	2019	7	17 ～ 18	手動プレス機でプレス作業が完了し、治具の戻し動作中にワークが引っ掛かり傾いた。そのため、右手でワークを支えて、左手で動作ボタンを操作したところ、誤って治具が前進し、右手人差し指を挟み骨折した。	57	11	11409	30～ 49
28	2019	7	14 ～ 15	被災者は、昼過ぎから1時間半ほど積み込み作業をした後、少し離れた場所に移動して養生作業をしていたが、しばらくして、他の作業員が車両荷台内に倒れている被災者を発見した。その際、まだ呼吸があったが、救急通報後に無呼吸となり、AEDで心肺蘇生をしたが反応がなく、熱中症により死亡した。	47	11	40301	50～ 99
29	2019	7	13 ～ 14	店舗ドライブスルーレーンで、並んでいる車へメニューを配布し、交通整理を行った。日差しが強い中、日焼け対策をしないまま長時間店外で作業したため、首・耳・肩・顔・両腕に日焼けによる火傷を負った。	59	11	140209	50～ 99
30	2019	7	15 ～ 16	厩舎馬房内にて、馬の寝薬作業後、めまい、痺れが酷くなり、熱中症を負った。	53	11	70101	10～ 29
31	2019	7	17 ～ 18	足場にて、外壁スレート撤去作業後、帰りの車内で体調を崩し、脱水症を負った。	73	11	30209	1～9
32	2019	7	15 ～ 16	業務終了後、血色が悪く、痺れや体がつる症状が出ており、熱中症を負った。	57	11	140301	50～ 99

33	2019	7	14 ～ 15	午前中から厨房勤務をしていて、午後に気分が悪くなった。休憩していたが手足がしびれてきて熱中症になった。	40	11	80209	30～ 49
34	2019	7	15 ～ 16	屋外現場で、4tアームロール車を操作中に、熱中症を発症した。	46	11	80109	50～ 99
35	2019	7	14 ～ 15	食肉市場にて、トラックから牛を降ろし、屋外で洗車中、気分が悪くなり、熱中症を負った。	42	11	40301	10～ 29
36	2019	7	14 ～ 15	古紙の回収場所に向かうため、運転をしていたとき、足と背中がつったような感じになり気分が悪くなった。駐車場で20～30分ほど休憩した後、古紙回収作業をして帰社し、荷降ろしをしていたところ、再度足がつり、気分が悪くなった。熱中症を発症していた。	28	11	80109	50～ 99
37	2019	7	16 ～ 17	工場内の清掃作業が終わり、休憩後に製材課食堂で安全会議に出席していた。会議中に寒さを感じて震えだし、高熱が出たため仮眠室で休んだ。帰宅後も高熱が続き、手足に痙攣が起きて動けなくなり、熱中症による脱水症状を起こした。	26	11	10401	300 ～ 499
38	2019	7	10 ～ 11	公園内にある現場で測量作業中、休憩するため休憩場所まで歩いていたとき、ふらつき倒れ込んだ。その際、脱水症状・めまい・嘔吐があり、熱中症になった。	61	11	30106	1～9
39	2019	7	17 ～ 18	巡回業務から戻った後、床に倒れ込み呼びかけにも応じられなくなり、意識がなくなり、熱中症を発症した。	68	11	80109	1～9
40	2019	7	17 ～ 18	炎天下で縦排水部コンクリート打設作業をしていた。終業後、気分が悪くなり、脱水症状および急性腎不全を起こした。	57	11	30109	30～ 49

68	2019	7	10 ～ 11	工場内の大型ラインで、資材供給リフト作業中に気分が悪くなり、熱中症になった。	52	11	10105	～ 299
69	2019	7	11 ～ 12	工場内でラインからユニック部品を下ろす作業をしていたところ、足が動かなくなるなどの症状が生じ、熱中症になった。	57	11	170101	～ 299
70	2019	7	10 ～ 11	ガス工事に伴う交通誘導業務中に熱中症を発症した。	66	11	170201	10～ 29
71	2019	7	14 ～ 15	気温35度で大変暑い日に、新築工事現場の出入口付近で交通整理をしており、パラソルの下で椅子に座って休んでいたところ、熱中症で倒れた。	78	11	170201	50～ 99
72	2019	7	19 ～ 20	園内屋外スペースで、イベントショーに向け着ぐるみを着用し練習を行った。終了後控え室に戻る途中体調不良を訴え、スタッフ2名の介助で控え室に移動し、着ぐるみを脱がせたところ意識を失った状態で、熱中症（不十分な熱拡散環境での労働）により死亡した。	28	11	140302	500 ～ 999
73	2019	7	12 ～ 13	現場仕分け作業中に気分が悪くなりトイレへ、その後現場作業中、脱水症状と血圧低下で倒れ、熱中症を発症した。	54	11	40301	100 ～ 299
74	2019	7	11 ～ 12	新幹線トンネル工事に伴い、橋梁工事のためスラブ上を作業員が移動中、熱中症により気を失い倒れた。その際、ワーゲンレールに顔面を打ちつけ、左頬を骨折した。	57	11	30102	100 ～ 299
75	2019	7	13 ～ 14	罹災者は駐在先にて温泉などのモニタリング業務立会いのため、噴気地帯にて業務を行っていた。罹災者は、定例の温水採取箇所を確認していたが、前月末より続いた降雨により地盤が緩んでいたため、急に地面が踏み抜け、右足が熱した泥溜まりに深く沈んでしまい、足先から大腿部中間まで熱傷を負った。	26	11	170209	100 ～ 299

76	2019	7	11 ～ 12	派遣先のトラック内で、業務終了前の約30分間エアコンの故障により冷房が作動しなかった。そのため、業務後に発熱などの症状がでた。その後、発熱・急性気管支炎・熱中症の疑いと診断された。	46	11	170101	100 ～ 299
77	2019	7	23 ～ 24	個人宅新築基礎工事で、暑熱環境の中、午後より体調が優れなかった。そのまま夕方まで土工作业を継続し、帰宅後、体調悪化した。その後の検査の結果、横紋筋融解症と診断された。	41	90	30202	1～9
78	2019	7	13 ～ 14	店内にてホール作業（レジ・提供・下げ膳など）中、いつもより忙しく、特に気温が高い日で、レジ付近は特に暑かったため意識が朦朧とした。その後、熱中症と診断された。	58	11	140201	10～ 29
79	2019	7	5 ～ 6	シームレス鋼管工場の定寸切断ラインにて、鋼管の搬送トラブル処置作業をしていた。その際、高温の鋼管が足の上に乗り熱傷を負った。	51	11	11209	100 ～ 299
80	2019	7	14 ～ 15	配管用の仮足場を設置中に、熱中症にかかった。	57	11	30209	10～ 29
81	2019	7	17 ～ 18	工場内でプレカット加工機を操作中、具合が悪くなって熱中症になった。熱中症対策のため空調服を1人2着ずつ支給していたが、被災者は当日は着用していなかった。	46	90	80209	30～ 49
82	2019	7	9 ～ 10	現場道路上で作業準備の交通誘導のため立っていたところ、気温が30度近くまで上昇し、始業開始直後で水分補給をしなかったため、熱中症を負った。	61	11	30107	1～9
83	2019	7	15 ～ 16	倉庫内でトラックから荷物を積み降ろし作業中に、熱中症を負った。	29	11	40301	100 ～ 299
84	2019	7	15 ～	住宅敷地内にて、気温が高い環境の中で、除去土壌の掘り起こし作業中、熱中症を負った。	63	11	30309	10～ 29

			16						
85	2019	7	14 ～ 15	事務所内にて、事務作業中、エアコンが故障し窓を開け、扇風機 5台で対応しており、室温が30度を越え体調不良となり熱中症を 負った。	44	11	130201	30～ 49	
86	2019	7	14 ～ 15	ストックルーム内にて、入荷作業中、体調不良（めまい、吐き 気）となり、熱中症、脱水症状となった。	21	11	80209	1～9	
87	2019	7	21 ～ 22	業務中、体調不良（めまい、立ちくらみ）となり、熱中症となっ た。	31	11	80109	100 ～ 299	
88	2019	7	11 ～ 12	当社の玉ねぎ畑にて、手鋤で草取り作業中、手足が痺れ、息が苦 しくなり、気温が30度以上と高く、熱中症を発症した。	69	11	60101	1～9	
89	2019	7	16 ～ 17	牧場の牛舎内にて、給餌作業中、倒れ、嘔吐や足の痙攣等があ り、熱中症を発症した。	23	11	70101	1～9	
90	2019	7	14 ～ 15	国道の道路脇で除草作業中、直射日光に当たっていたため熱中症 になった。	58	11	30106	1～9	
91	2019	7	18 ～ 19	資材置場にて、資材の整理中、過呼吸（1時間おきに休憩と水分 補給を取っていた）となり意識が朦朧とし熱中症を負った。	42	11	30107	1～9	
92	2019	7	11 ～ 12	マンション屋外にて、清掃作業中、気温が30度を超える暑い日 で、1階ゴミ捨て場片付け中に体調が悪くなり、熱中症を負っ た。	30	11	150101	100 ～ 299	
			11	スチームコンベクション（上下2段式）で調理が終了し、下段か らホテルパン（容器）に入った粥を取り出そうとした。本来は、					

93	2019	8	～ 12	上段から先に取り出すところ、上段にホテルパンに入ったミキサー食を載せた状態で、下段から先に取り出そうとしたため、バランスが崩れた。その際、上段のミキサー食がこぼれ、右腕に掛かり熱傷を負った。	64	11	10109	10～ 29
94	2019	8	5 ～ 6	飲食店で作業中に、エアコンが壊れて作動していない中で、熱中症を発症した。	49	11	140201	30～ 49
95	2019	8	11 ～ 12	早朝から圧力釜の近くで作業をしていたため熱中症になった。	55	11	10101	10～ 29
96	2019	8	12 ～ 13	勤務中、水分補給をしなかったことにより脱水症状となり頭痛が発生、その後、熱中症と診断された。	29	11	170101	100 ～ 299
97	2019	8	15 ～ 16	高速のサービスエリアの駐車場で誘導作業をしていた。休憩時間に車中で体を休めていたところ急な痙攣と息切れが始まり、熱中病を発症した。	50	11	170201	100 ～ 299
98	2019	8	9 ～ 10	梱包されているドライアイスを、カットする機械にセットするために開梱していた際、軍手を着用して作業を行っていたが手指に痛みを覚え指腹に紅斑、水泡が現れ、全手指の指腹に熱傷を負った。	19	11	80109	10～ 29
99	2019	8	14 ～ 15	家庭ゴミを収集作業中、体調が悪くなったので休憩していたが治まらず、痙攣などの症状が出て、熱中症と診断された。	21	11	40301	100 ～ 299
100	2019	9	15 ～ 16	事務所移転のため、朝から夕方まで、事務机・書棚等を運ぶ作業をしていたところ、熱中症による脱水症状を引き起こし、腎臓機能が低下した。	27	11	10805	100 ～ 299

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。